

2020年1月20日全学環境安全管理室等会議・事故災害報告(要約)

・休業4日以上

- 19216I** 助教(男性:37歳);学内移動で自転車を押して門の階段(スロープ)を降りる最中に、濡れた落ち葉で滑り転倒。右大腿部を強打、骨折した。(休業1ヶ月)
- 19218I** 補佐員(女性:20歳);書架清掃中、書籍を持ってないほどの痛みを左手に発症。診察の結果、左手親指関節と手首に腱鞘炎およびCM関節症と診断を受けた。(休業日数4ヶ月)
- 19219I** 技術・教室系職員(男性:52歳);キャンパス内を徒歩で移動中、足を取られ転倒した際に足首をひねり、左かかと内側を骨折した。(休業日数47日)

・休業4日未満

- 19217M** 技術・教室系職員(男性:61歳);台車で運んだ廃棄物の箱(20kg程度)を持ち上げ、下ろした際に腰を痛めた。休業1日。

・不休業事故・災害

- 19203F** M2院生(男性:24歳);研究室セミナーの発表中に意識を失い転倒、机に耳の後ろを強打ち切創を負った。研究のまとめの時期で、睡眠時間を削って発表準備をしていた。
- 19204F** 研究員等(女性:49歳);階段から転落して全身を強く打ち、左棘上筋腱部分断裂、関節唇損傷の診断をうけた。建物内は土足禁止のためスリッパを履いていた。
- 19205F** 医療・看護系職員(女性:25歳);ストレッチャーとベッドの間に指が挟まれ、打撲を負った。
- 19206F** 初期研修医(女性:28歳);丸椅子の座面部分を持って移動させようとしたところ、座面が外れて左足拇趾の上に落下し、骨折。
- 19207F** 医療・看護系職員(女性:34歳);業務指示によりインフルエンザワクチンを接種した際、迷走神経反射もしくはアレルギー反応が出現し、体調不良により内科受診をした。
- 19208F** 医療・看護系職員(女性:28歳);救急救命作業中、急いでいたためストレッチャーに右膝内側を打ち付け、打撲を負った。
- 19211F** M1院生(女性:22歳);居室から廊下に出る際、靴を履くときにバランスを崩して足をひねり捻挫した。
- 19213F** 補佐員(男性:42歳);トイレ前の廊下の水たまりで足を滑らせ、頭と腕を打ち、こめかみ上部に切創を負った。
- 19214F** M2院生(女性:23歳);クラス3B紫外レーザーの焦点位置調整の際に、レーザー光の一部が指先に数秒程度当たっていた。指先表面の目視による異常・変化は見られず。
- 19220F** 事務・図書系職員(女性:38歳);階段降下中に踏み外し転倒、左足首を捻挫した。
- 19223F** 医療・看護系職員(女性:23歳);切開作業中、解剖刀で左手人差指を切創した
- 19225F** 研究員等(男性:26歳);逃げようとした患畜(猫)を押さえた際、顎を噛まれ、手を引っ搔かれた。

・通勤災害

- 19201J** 事務・図書系職員(女性:57歳);通勤途中の駅で前方から来た人に突き飛ばされ柱に頭をぶつけた。頭部及び腕等打撲を負った。
- 19222J** 特任講師(女性:62歳);雨天時、徒歩で帰宅する際に転倒した。左足首ひび。(休業1日)
- 19224J** 助教(男性:56歳);電車に乗車直後、車両床面の雨水で滑り転倒、右手首を骨折した。(休業2日)
- 19227J** M1院生(男性:22歳);自転車で帰宅中、信号待ちの自動車の左側を通過しようとした際に、自転車ハンドルとブレーキが車に接触した。引っ搔き傷2本の物損。
- 19228J** M2院生(男性:24歳);自転車で帰宅途中、交差点で右折してきた車にはねられ打撲傷を負った。(休業5日)

・ヒヤリハット。人的被害と物的被害なし

19212H 実験ベンチ上で、粉末試薬と誤って液体試薬を薬包紙に取ろうとして液体試薬がこぼれ、それより前にこぼれていた粉末試薬と反応して白煙が生じた。

19215H エタノールを使用して実験器具の洗浄を行っていた際に、一酸化炭素ガス検知器が誤作動して発報した。

・人的被害なし、設備災害でない有害物（臭）流出あり

19209NI 測定装置の冷却水ラインのフィルタを交換したとき、フィルタのケースの蓋の締めがわずかに甘かったことにより漏水した。

19210NI 納品業者が台車で試薬を運搬中、キャンパス内(建物外)の路面でバランスを崩し、硫酸 500ml の試薬瓶が台車から落下して破損、100mlほどが路上にこぼれた。余剰量の重曹を用いて中和、粉末を回収した後、大量の水で路面を洗浄した。

19226NI 台車で廃液タンクを運搬中に、廃棄物保管庫前の段差でタンクが転倒し、有機廃液の一部が流出した。流出液を布で拭き取り、液の付着した土を回収。布と土をL 分類廃棄物として排出した。

以上 教養学部等環境安全管理室

・不休業事故・災害

19233F 教授(女性:58歳);コピー複合機の下に保管してある用紙を取ろうとして、無理な体勢になり腰をひねった。

19235F D1 院生(男性:25歳);ズボンの前ポケットに入れていたボールペンの破損部分に誤って触れ、指に切創を負った。

19236F 講師(男性:37歳);検体の切り出し作業中、誤って切り出し器具の刃を逆に持っしまい、右指に切創を負った。

19241F 事務・図書系職員(女性:47歳);講堂にて、隣席の椅子の背テーブルを収納した際、テーブルボックスのストッパの不具合でテーブルが勢いよく落下し、右手薬指を挟み裂傷と骨折を負った。

19242F D4 院生(男性:35歳);実験室ドアの縦枠に指をかけて室内の履き物を整理していたところ、ドアクローザーによりドアが閉まり、左手薬指が挟まれ骨折した。

19243F D3 院生(女性:27歳);空き瓶の廃棄作業中、袋から飛び出していた割れた三角フラスコの鋭利な部分に触れてしまい、右手親指に切創を負った。

・通勤災害

19234J M1 院生(男性:23歳);帰宅途中に自転車で転倒して頭を打ち、自宅まで自力で戻ったが、その後状態が悪化し救急搬送され手術を受けた。(休業30日)

・ヒヤリハット。人的被害と物的被害なし

19229H 公用車運転中、バックで駐車しようとしたときに、不注意により後方の防護柵に衝突した。

19230H 公用車運転中、右折時に内輪差を読み誤って、後輪付近をガードレールにぶつけた。

19231H 駐車場で降車時、ドアが風にあおられ隣の車にぶつかった。

19239H 構内中庭に設置されている「手すり壁」の損傷が著しいため、非破壊検査業者に依頼し壁内部の状態を診断しようとしていた。X線発生装置のエイジングを開始し、照射を開始したところ、構内設置の放射線モニタリングポストの指示値が上昇し発報した。

・人的被害なし、設備災害のみ

19237Ns 空調設備の故障により、実験系廃棄物保管用冷蔵室の室温が49℃まで上昇し、前室の温度感知型火災報知器が発報した。

・人的被害なし、設備災害でない機器・施設損傷あり

19238Nd ベルトを装着しようとした際、手が滑り、ベルトの金具部分が振り子のような軌道で脇の窓ガラスに当たり破損した。

・人的被害なし、設備災害でない有害物(臭)流出あり

19240Ni 液体窒素自動汲み出し装置の秤に50リットル容器を置いて汲み出しを開始したが、誤って容器容量を100リットルと入力していたため、大量の液体窒素が室内へ漏えいした。

・その他

19232S 学部学生4年(男性:22歳);研究室忘年会の二次会後、徒歩で赤信号の横断歩道を渡っていた際にタクシーに衝突され、裂傷、擦過傷、靭帯損傷、全身打撲を負った。(休業4日)